

令和3年度第1回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会次第

令和3年8月3日（火）

13：30～15：30

於 スパティオ小淵沢 1階
コンベンションホール

- 1 開会のことば
- 2 委嘱状の交付
- 3 3市町村長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議事録署名人選出
- 6 議 題

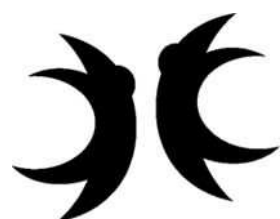
（1）八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの変更について

（2）進捗管理について

（3）その他

- 7 閉会のことば

令和3年度
八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン進捗管理



北杜市



富士見町



原村

令和3年8月

■ ハヶ岳定住自立圏共生ビジョンの進捗管理

ハヶ岳定住自立圏共生ビジョンは、圏域からの人口流出を食い止め、圏域への人の流れを創出するという観点から、3つの政策分野における様々な取組を確実に推進することが重要となっています。

そこで、取組や設定した成果指標（K P I）達成に向けた活動を継続的に改善する方法であるP D C Aサイクルを活用しながら共生ビジョンの進捗を管理し、3市町村の人口定住のために必要な生活機能の確保と地域の活性化を図る圏域づくりを目指します。

■ P D C Aサイクルのスケジュール

P D C Aサイクルとは、P l a n（計画）→D o（実行）→C h e c k（評価）→A c t i o n（改善）を繰り返すことで業務を継続的に実施・改善していく手法です。

共生ビジョンは5年に一度作成されるため、方針や方向性を見直す機会とするには5年に一度が適している面もありますが、各事業は年度ごとに予算配分され実施されること、共生ビジョンに記載された内容は多岐に渡っていることなどを考慮すると、年度ごとのP D C Aサイクルを活用することが効果的であります。

年度ごとのP D C Aサイクルには、2つのサイクルを活用することが考えられます。

① 年度ごとにまとめた実績を活用するP D C Aサイクル

前年度の実績が6月頃確定するため、6～8月に事業の達成度や進捗を評価し、当該年度の取組や事業の実施方法の改善等にかすサイクル。

- ・ 実績が確定しているため、達成度や進捗は管理しやすい。
- ・ 既に当該年度が始まっており、補正予算でも計上しない限り、事業の大きな改善は難しい。

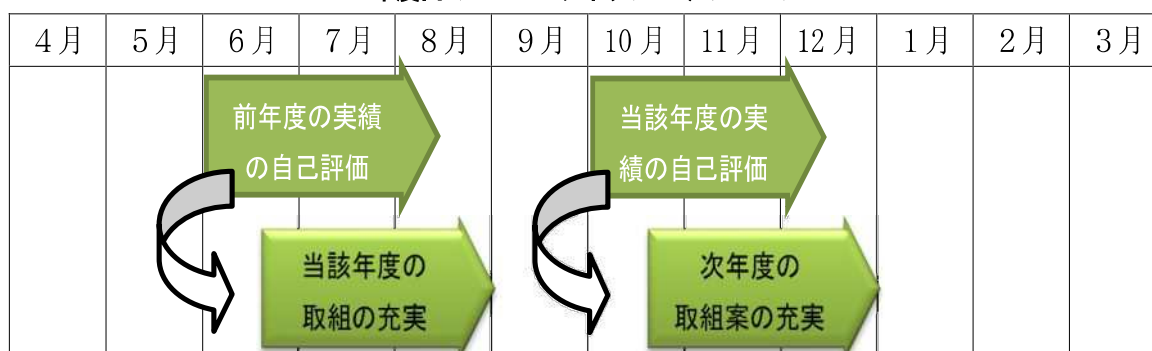
② 予算要求時の事務サイクルを活用するP D C Aサイクル

9月末現在の中間地点における実績を参考にして、10月に事業の達成度や進捗を評価し、取組や事業の改善の必要性を考慮し次年度予算に反映するサイクル。

- ・ 事業を開始して6箇月しか経っていないため、成果が十分に上がっていないことが考えられる。
- ・ 次年度の取組や事業の改善の必要性に気付いた場合は当初予算の計上も可能であり、抜本的な立て直しが可能。

これら2つのサイクルには一長一短があるため、2つのサイクルを同時に活用しながら、進捗管理を行います。

年度内のPDCAサイクルスケジュール



■ 持続可能な共生ビジョンのマネジメント機能の強化

第1次の共生ビジョンでは、3つの政策分野のうち6事業についてKPIを設定し進捗管理を行いましたが、第2次の共生ビジョンではすべての事業においてKPIを設定し進捗管理を行います。

このため、KPIの設定及び進捗管理については、3市町村ごとに事業評価シートを作成し進捗管理を行うこと、毎年8月頃に開催する八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会において、事業評価シートに基づき3市町村事業担当課から進捗管理を報告すること、いただいた委員の意見を踏まえ、次年度の事業の見直しを行い、その取組内容を翌年2月頃に開催する八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会において報告することにしたいと考えています。

なお、KPIをみますと実施回数や参加者数といったプロセス指標である目標値と実績値を比較することは、評価するうえで重要であります。しかしながら、毎年進捗管理を行う際、一見すると回数などの数値が達成しているため評価できるものとして捉えがちであります。最も重要な、事業効果となる例えば「圏域住民の健康増進が図られた」といった理想像（人口定住のために必要な生活機能の確保と地域の活性化を図る）に近づいているか」といったことについて達成できているかは不明確であります。

従いまして、評価するにあたり、例えば参加者へのアンケートやヒアリング等を通じて、取組の効果（アウトカム）に関心を寄せて考察し、理想像へ近づいたかどうかを把握することが、的確な評価につながると考えています。

具体的には、アウトカム指標、例えば健康づくり事業において「各種健康づくり事業に参加している回数の割合」等がどのように構成されているか（性別、年代別など）といった圏域住民の活動状況など経年変化を把握することが可能な指標を設定し、分析することで健康づくりを実感できる機会が創出されたこと、すなわちそこから理想像に近づいていることが要因となって、定住につながる期待が高まっているといった評価をすることが重要であり、共生ビジョン懇談会の場でより進捗管理の認識が深まるものと期待しています。

■ シートの確認

7 ページ以降で示す【施策分野】及び【事業内容】は、共生ビジョンに記載されているものです。表内の赤字は、字句の訂正及び数値等の見直しを行ったことを示しています。事業費について、R 2 は実績額を R 3 は当初予算額を記載していて、R 4 以降は基本的に R 3 の当初予算額を記載しています。

【事業評価】は、3 市町村の事業担当課による P D C A サイクルの進捗管理で、主に事業費が計上されている市町村が進捗管理を行っています。

【取組実績】は、K P I とその根拠、実績値を記載しています。K P I は、各事業の進捗管理を行うために設定された指標で、計画終了年度（令和 6 年度）における数値目標である目標値を設定し達成を目指します。

進捗管理において、毎年、定量的な成果を把握するため、基準値と目標値を計画年数で割り戻し傾斜配分した値をもとに事業の進捗管理を行います。

■ 実績の確認

適切に取組実績が把握されているかどうかをヒアリングにより検証しています。

■ K P I ・目標値の確認

設定した K P I の数値や内容が適切であったのかを検証する必要があります。K P I は、高すぎても逆に低すぎても意味がありません。さらに、目標とする内容や項目が、その取組の進捗や達成状況を示すものでなければ意味がありません。これらは、K P I を設定する段階でも検討できますが、実際に P D C A サイクルをしてみることで初めて気づくこともありますので、進捗管理を通じて検証していきます。

■ K P I と実績の乖離を比較

取組自体は順調であっても、K P I が達成できないことが起こり得ます。例えば、「参加者数を 1 0 0 人にする」という目標を立てると、とにかく事業を実施することばかりが目的になり、目標どおりに実施できても、事業効果がみられないかもしれません。このため、取組の実施自体が目的になるようなことがないよう評価するとともに、K P I を設定した際に目指した理想像を再度確認することとしています。

■ 評価の実施

達成・未達成の判断を行ったうえで、達成・未達成の理由を考察しています。達成した場合は、「何が達成できた要因か」、「計画どおりに取組が進捗しているか」、「地域課題の解決までつながっているか」等を確認し記載しています。未達成だった場合は、「何が達成できなかった要因か」、「今後計画どおりに取組を進められそうか」、「地域課題の解決を行うために他の方法がないか」、「取組を行ったことで良かった点はあるか」等を確認し記載しています。

■ 共生ビジョン懇談会委員による評価の実施

事業担当者の評価をベースに、共生ビジョン懇談会の場で議論していただき、共生ビジョンを高めていきます。また、取組やK P Iについて、方針変更の可能性や新たな事業の検討があれば、併せて議論し委員と認識の共有を図ります。議論の結果、取組やK P Iを変更・見直しすることがあります。

■ 進捗管理体制

1 内部体制

名称 北杜市総合計画策定本部員会議

構成 29名 本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部長 部局長、総合支所長、秘書広報課長、
政策推進課長、財政課長、総務課長

2 外部体制

名称 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会

委員 20名

任期 2年間

任務 共生ビジョンの策定又は変更及び進捗管理

■ 次年度以降の取組

取組が順調に進み、目指した理想像に近づいているならば、この取組を続けるか、さらに拡充することを検討していきます。逆に、取組が順調に進んでいない、あるいは取組自体は順調に進んでいるにもかかわらず、取組により目指した理想像に近づいていないことに気づけば、取組の内容を修正していきます。また、目標が達成されている場合でも、委員から効果が確認できないといった場合は、実施している取組内容の再検討も考えていきます。さらに目標が未達成の場合は、取組内容の実現性を高めるため、方法を再検討することも考えられます。

いずれにしても、検討した改善事項案を提示し、今後行う具体的な取組を共生ビジョン懇談会の場で議論して決定していきたいと考えています。

■ 令和２年度取組実績（概要）

政策分野		取組事業数	達成	未達成	備考
1 生活機能の強化		2 2	5	1 7	
	医療	3	1	2	新規 3 事業
	福祉	2	0	2	新規 2 事業
	産業振興	7	1	6	
	教育文化	1 0	3	7	
2 結びつきやネットワークの強化		7	1	6	
	地域公共交通	1	0	1	
	圏域内外の住民との交流及び移住の促進	4	1	3	新規 1 事業
	道路等の交通インフラの整備	2	0	2	
3 圏域マネジメント能力の強化		1	0	1	
	圏域市町村職員の交流	1	0	1	
合計		3 0	6	2 4	

1 達成した取組

○生活機能の強化

- ・医療 地域医療機関支援事業
- ・産業振興 鳥獣害防止対策合同会議
- ・教育文化 図書館相互利用促進事業、図書館連携事業、峡北スケート大会、スケート教室開催事業及びスケート振興推進事業

○結びつきやネットワークの強化

- ・圏域内外の住民との交流及び移住の促進 きめ細やかな結婚支援事業

■ 圏域ごとの人口推移と令和22（2040）年の推計

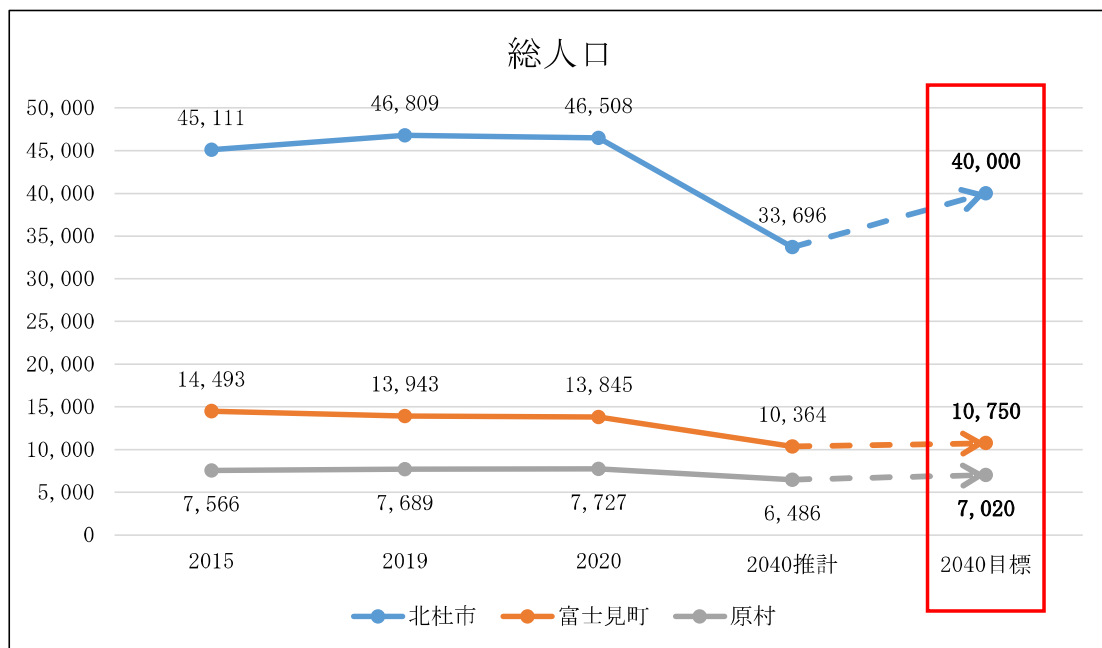
八ヶ岳定住自立圏 共生ビジョン		第1次		第2次	第6次	
項目	圏域	H27（2015）	R1（2019）	R2（2020）	R22（2040） 推計	R22（2040） 目標
総人口	北杜市	45,111 人	46,809 人	46,508 人	33,696 人	40,000 人
	富士見町	14,493 人	13,943 人	13,845 人	10,364 人	10,750 人
	原村	7,566 人	7,689 人	7,727 人	6,486 人	7,020 人
	合計	67,170 人	68,441 人	68,080 人	50,546 人	57,770 人

※H27（2015）は、国勢調査の数値。

※R1（2019）及びR2（2020）は、住民基本台帳10月1日の年央値。

※R22（2040）の推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計。

※R22（2040）の目標は、第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン冊子に記載。



（◎：プラス変化 ▲：マイナス変化）

圏域	R1（2019）	R2（2020）	増減率
北杜市	46,809 人	46,508 人	▲0.6%
富士見町	13,943 人	13,845 人	▲0.7%
原村	7,689 人	7,727 人	◎0.5%
合計	68,441 人	68,080 人	▲0.5%

I 生活機能の強化に係る政策分野

【施策分野①】

政策分野	生活機能の強化
項 目	1. 医療 ア 医療体制の充実
取組内容	圏域の総合的な医療体制の充実を図るため、圏域住民が安心して暮らせる地域医療の体制づくりに取り組む。
関係市町村の役割	甲乙が連携し、圏域内の医療機関が行う健康な暮らしを支える取組の充実と相互の支援体制を構築する。

【事業内容①－1】

事業名	地域医療機関支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の医療機関が行う救急医療や地域住民を対象にした健康づくり事業に対し支援を行う。						
事業効果	救急医療体制の維持や医療機関への医師の派遣等による医療体制の充実が図られるとともに、各種健康づくり事業の実施による圏域住民の健康増進が図られる。						
導入可能な補助事業等	特別交付税に関する省令第 51 号						
重要業績評価指標 (K P I)	指標		H 3 0 (基準値)		R 6 (目標値)		
	救急病床		4 床		4 床		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	39,688	39,688	39,688	39,688	39,688	198,440
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	39,688	39,688	39,688	39,688	39,688	198,440

【令和 2 年度事業評価】

PLAN	検証方法	【富士見町】人口規模を踏まえた救急病床数を検証する。
DO	実績	【富士見町】北杜市、原村に救急受入病院がないため、人口減少・コロナ禍ではあるが救急病床 4 床が維持できた。コロナ対策もあり、増床はできず、感染対策を行いながら救急対応をしている。新型コロナウイルス感染症検査についても実施し、安心・安全な体制で受け入れを行っている。
CHECK	効果 (達成・未達成 の理由)	【富士見町】受入実績:令和 2 年度救急搬送受入れ件数 720 件(内富士見町救急分 394 件)。
ACTION	次年度以降 の取組	【富士見町】北杜市、原村に救急体制がないため、救急病床 4 床を維持していく。新型コロナウイルス感染症対策も引き続き実施し、別荘滞在者・観光客のためにも安全安心な体制を維持していく。

【令和 2 年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	4 床	4 床	4 床	4 床	4 床	4 床	4 床					救急病床 年間維持
富士見町												
原村												

【施策分野②】

政策分野	生活機能の強化
項 目	1. 医療 イ 健康づくりの推進
取組内容	圏域内の若者から高齢者まで幅広い世代の健康意識の向上を図るため、健康に関する情報発信や健康意識の啓発に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、生活習慣の改善や運動習慣の確立に向けた情報発信や健康づくりを実感できる機会を創出する。

【事業内容②－１】

事業名	美からの健康教室開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の若者から高齢者まで幅広い世代の健康意識の向上を図るため、市内企業とタイアップして、美と健康をテーマにした講演や簡易健康測定を活用した教室を開催する。						
事業効果	若者から高齢者までの幅広い世代の健康意識の向上が図られ、元気な地域づくりが創出される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	特定健診受診率			北杜市	48.7%	60%以上	
事業費（千円）				富士見町	49.3%		
				原 村	43.5%		
	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	207	207	207	207	828
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	207	207	207	207	828

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】特定健診の受診率を検証する。
DO	実績	【北杜市】生活習慣病による医療費の抑制を図り市民の健康状態を向上させるためには、40～50 歳代の健診受診率を上げ、大きな疾病の発症を予防することが大切である。40～50 歳代の健康意識を向上させるために美という入口からアプローチした。介護支援課と共催で 40～50 歳代向けの健康づくり講演会「働き盛り必見！あなたの将来像」を CATV および YouTube で配信。（CATV4 回シリーズ 1 か月間放送後、YouTube で配信） 1 回目 酔亭化枝による体験談 2 回目 須藤大輔氏による運動実践 3 回目 アルソア管理栄養士による食事の工夫 4 回目 3 講師による対談
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】コロナウイルス感染症蔓延防止の為、実施方法を変更したため、効果測定不能。健康診断の受診の場を提供したが、外出の自粛等市民自らの判断で健診受診を控えるケースが多かった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】この２年間は「美からの健康教室開催事業」と入口を限定したが、コロナ感染症もあり、思うような講演会を開催することが出来なかった。次年度からは、健康福祉大会を見直し、福祉課・介護支援課・健康増進課の３課で連携して開催していく。健康増進課事業では健康教育事業に位置付ける。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	48. 7%	51. 0%	53. 2%	55. 5%	57. 7%	60. 0%	48. 3%					特定健診受診率 年間 2. 26%増 (R6-H30) /5 の数 値を傾斜配分
富士見町	49. 3%	51. 4%	53. 6%	55. 7%	57. 9%	60. 0%	49. 2%					特定健診受診率 年間 2. 14%増 (R6-H30) /5 の数 値を傾斜配分
原村	43. 5%	46. 8%	50. 1%	53. 4%	56. 7%	60. 0%	42. 1%					特定健診受診率 年間 3. 3%増 (R6-H30) /5 の数 値を傾斜配分

【事業内容②－２】

事業名	春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	市町村ごとの特徴ある健康づくり事業として、原村において「春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト」として、松本大学から講師を招き健康ウォーキングを中心に健康づくり教室を開催する。						
事業効果	構成市町村が相互に連携し、教室への参加を圏域全体に呼びかけることで意識の高揚と健康寿命延伸、市町村間の交流促進が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	教室参加人数			107人		220人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	198	400	400	400	400	1,798
	合 計	198	400	400	400	400	1,798

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【原村】教室の参加人数を検証する。
DO	実績	【原村】平成 30 年度は年 2 回開催した。令和 2 年度から年 4 回の開催に変更した。 夏のたなばたウォーキング 7 月 2 日開催 参加人数 42 人 秋のいきいき体操教室 10 月 22 日開催 参加人数 35 人
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【原村】新型コロナウイルス感染拡大防止のため春のさわやか運動教室、冬のぽかぽか運動教室を中止した。
ACTION	次年度以降の取組	【原村】新型コロナウイルス感染拡大の状況を考えながら、年 4 回の開催を行っていきいたい。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI 数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	107 人	130 人	152 人	175 人	197 人	220 人	77 人					教室参加人数 年間 22.6 人増 (R6-H30) / 5 の数値を傾斜 配分
富士見町												
原村												

【施策分野③】

政策分野	生活機能の強化
項 目	2. 福祉 ア 子育て支援
取組内容	圏域内の子育て世代の交流促進を図るため、子育て支援施設の相互利用やイベント情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、子育て支援施設の相互利用や子育てイベント情報の共有による交流の機会を創出する。

【事業内容③－１】

事業名	子育て支援施設相互利用事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内 6 箇所の子育て支援施設において乳幼児（概ね 0 歳から 3 歳）とその保護者を対象に、子育てアドバイザーによる育児相談や情報提供、子育てに関する講習会やイベント等を行う。						
事業効果	圏域内の子育て中の保護者の負担感を緩和し、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、子育て支援施設の利用促進を図られる。						
導入可能な補助事業等	子ども・子育て支援交付金						
重要業績評価指標（KPI）	指標		H30 （基準値）		R6 （目標値）		
	利用者数		14,650 人		14,665 人		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	16,409	23,016	23,016	23,016	23,016	108,473
	富士見町	6,423	6,500	6,500	6,500	6,500	32,423
	原 村	0	0	1,131	1,131	1,131	3,393
	合計	22,832	29,516	30,647	30,647	30,647	144,289

【令和 2 年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】つどいの広場 4 施設の利用者数を検証する。 【富士見町】子育て支援拠点施設の利用者数を検証する。 【原村】子育てサロンの利用者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】子育て中の保護者の負担感を緩和し、安心して子育てができるよう、子育て支援施設の利用を促進した。圏域内 6 箇所の子育て支援施設において乳幼児（概ね 0 歳から 3 歳）とその保護者を対象に、子育てアドバイザーによる育児相談や情報提供、子育てに関する講習会やイベント等を行った。4,515 人 【富士見町】富士見町子育て支援拠点事業利用者数 4,149 人 【原村】子育てサロン参加人数 1,389 人
CHECK	効果 （達成・未達成 の理由）	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前予約制として利用者人数等を制限したため利用者が減少した。 【富士見町】新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一時利用を停止したほか、再開後においては、事前予約制として利用者を制限したため利用者が減少した。なお閉鎖期間中においては、電話・メール等を活用して相談を実施して、保護者の負担感の軽減を図った。 【原村】感染症の影響で、サロンを開催できない月があった。利用者は親子合わせて 1 回 10 人前後～30 人で推移しており、子どもと保護者の遊びの場の提供や保護者の仲間づくりの場として役割を果たしている。
ACTION	次年度以降 の取組	【北杜市】子育てに関する講習会、イベント等の開催。新型コロナウイルスの影響で開催が難しい場合は感染対策を行いできる範囲で行う。 【富士見町】引き続き（新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りつつ）、圏域内の利用を促進し、安心して子育てできる環境づくりを進める。 【原村】現行の取り組みを継続する。子育て支援センターの建設、サロンの拡充を検討している。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市							4,515 人					利用者数 年間３人 増 (R6-H30) /5 の数値 を傾斜配分
富士見町	14,650 人	14,653 人	14,656 人	14,659 人	14,662 人	14,665 人	4,149 人					
原村							1,389 人					
計							10,053 人					

【事業内容③－２】

事業名	子育て応援フェスタ事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	子育て親子や地域の企業・団体と連携しながら、子育て応援フェスタを開催し、楽しみながら情報交換や仲間づくりができる場を創出する。						
事業効果	圏域内の子育て中の親子同士や地域の住民等との交流を推進するとともに、子育て支援施設の利用促進を図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	H30 (基準値)			R6 (目標値)		
	参加者数	405人			425人		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	72	127	127	127	127	580
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	72	127	127	127	127	580

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】子育て応援フェスタの参加者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】例年、子育て中の親子同士の交流を図る観点から、子育て応援フェスタを開催するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の子育て応援フェスタは行わず、内容を変更し「子育て応援週間」を設定し、離れていてもみんなつながっているという想いをこめて、折り紙でハート型を折ってもらい、貼り合わせて大きなハートの展示を保健センターで行った。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】子育て世代やそれ以外の方にも参加してもらい、北杜市全体で子育てを感じてもらうことができた。 子育て応援週間中、保健センター来場者数 120 組 233 人(大人 127 人、子ども 106 人)
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】子育て応援フェスタを開催。新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、開催については慎重に検討していく。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI 数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	405 人	409 人	413 人	417 人	421 人	425 人	中止					参加者数 年間 4 人増 (R6-H30) /5 の数値を傾斜 配分
富士見町												
原村												

【施策分野④】

政策分野	生活機能の強化
項 目	3. 産業振興 ア 観光振興の推進
取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、広域観光ルートの設定やインバウンド対策事業等、八ヶ岳観光圏事業の拡充に取り組む。

【事業内容④―1】

事業名	八ヶ岳観光圏支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	「住んでよし、訪れてよし」の選ばれる観光地域づくりを目指し、観光地域づくり法人「日本版DMO」の取組みを支援する。 また、人材育成や地域資源の発掘・磨き上げ、観光客へのニーズ対応等を同法人と連携して実施することにより、質及び価値の向上を行い誘客を図る。						
事業効果 導入可能な 補助事業等	八ヶ岳観光圏エリアへの来訪者誘客及び観光消費額の増加が図られる。 訪日外国人旅行者周遊促進事業等						
重要業績評価指標 (KPI)	指標		H30 (基準値)		R6 (目標値)		
	(宿泊者数) (外国人宿泊者数)		1,130千人 52千人		1,209千人 63千人		
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	11,419	18,444	18,444	18,444	18,444	85,195
	富士見町	16,053	11,404	11,404	11,404	11,404	61,669
	原 村	2,315	2,500	2,500	2,500	2,500	12,315
	合 計	29,787	32,348	32,348	32,348	32,348	159,179

【令和2年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】3圏域の宿泊者数及び外国人宿泊者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】新型コロナウイルス感染防止のため、誘客促進を控えた「受け入れ環境整備」のための事業を行った。観光庁事業「誘客多角化のための魅力的な滞在型コンテンツ造成事業」に市が連携、地域の事業者が自主的に参画し地域連携DMO法人がとりまとめ申請を行った。 【富士見町】新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少する見込みである。 【原村】新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊者数や外国人宿泊者数は激減しているが、観光地域づくりにつながる事業は実施できた。
CHECK	効果 (達成・未達成 の理由)	【北杜市】外国人旅行者の受け入れが行われなかった。観光入込客数(実人数)は前年比57.5%であった。 訪日外国人旅行者周遊促進事業 10事業 広域周遊促進事業 1事業。 【富士見町】新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少する見込みである。 【原村】新型コロナウイルス感染症の影響によりKPIは未達成であったが、各種事業を実施したことにより観光地域づくりの推進は図れた。
ACTION	次年度以降 の取組	【北杜市】With コロナを念頭に、安心して来訪いただける環境づくりを保持しつつ、この地域ならではの環境を楽しんでいただけるようなおもてなしの提供、コロナ終息後のプログラムの実証等を行う。 広域周遊促進事業 7事業

		【富士見町】With コロナによる観光地域づくりを目指し、地域一体となった取り組みを行っていく。 【原村】新型コロナウイルス感染症への対応、収束後の誘客、観光地域づくり事業を実施する。
--	--	--

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	1,130	1,146	1,162	1,177	1,193	1,209	424,918 人					上段：宿泊者数 年間 15.8 千人増 下段：外国人宿泊者数 年間 2.2 千人増 (R6-H30) / 5 の数値 を傾斜配分
	千人	千人	千人	千人	千人	千人	3,506 人					
富士見町							50,800 人					
	52	54	56	59	61	63	7 人					
原村	千人	千人	千人	千人	千人	千人	13,400 人					
							5 人					
計							489,118 人					
							3,518 人					

【事業内容④—２】

事業名	２次交通事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	周遊バス等の２次交通の整備や支援により、エリア内の交通網を充実させ、住民や観光客等の利便性の向上を図る。						
事業効果	周遊バス等の整備により、住民や観光客の利便性が向上し、圏域への来訪者が増加し、それに伴う経済的効果が期待される。 また、魅力ある観光地としての情報発信により、圏域への移住定住が促進される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標（ＫＰＩ）	指標	Ｈ３０ （基準値）			Ｒ６ （目標値）		
	周遊バス利用者数	２，０３０人			２，０５０人		
事業費（千円）	年度	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	合計
	北杜市	０	０	０	０	０	０
	富士見町	９	０	０	０	０	９
	原村	５	０	０	０	０	５
	合計	１４	０	０	０	０	１４

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【２町村】鉢巻周遊リゾートバスの利用者数を検証する。
DO	実績	【富士見町】令和元年度運行を最後に事業中止した。 【原村】新型コロナウイルス感染症の影響により、運行を中止した。
CHECK	効果 （達成・未達成の理由）	【２町村】新型コロナウイルス感染症の影響により、運行を中止した。
ACTION	次年度以降の取組	【原村】費用対効果等の観点から、令和３年度以降の運行中止を決定した。

【令和２年度取組実績】

	基準値	ＫＰＩ・目標値					実績値					ＫＰＩ数値根拠
	Ｈ３０	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	
北杜市	２，０３０ 人	２，０３４ 人	２，０３８ 人	２，０４２ 人	２，０４６ 人	２，０５０ 人	—	—	—	—	—	周遊バス利用者数 年間４人増 （Ｒ６－Ｈ３０）／５の数値を傾斜配分
富士見町							中止	中止	中止	中止	中止	
原村							中止	中止	中止	中止	中止	
計							中止	中止	中止	中止	中止	

【事業内容④－３】

事業名	旧道の駅こぶちさわ改修事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	ハケ岳定住自立圏の玄関口である道の駅こぶちさわにおいて、道の駅こぶちさわのエリア内に残存する「（旧）道の駅こぶちさわ」を有効活用するため整備し、圏域内の観光や移住定住に関する情報を発信する。						
事業効果	「道の駅こぶちさわ」の整備により、集客力の強化と利用者の利便性の向上が見込まれ、ハケ岳観光圏及びハケ岳定住自立圏の魅力発信と移住定住促進に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 （KPI）	指標			H30 （基準値）		R6 （目標値）	
	来館者数			318,357人		320,000人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	37,796	0	0	0	0	37,796
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	37,796	0	0	0	0	37,796

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】道の駅こぶちさわ来館者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】ハケ岳定住自立圏の玄関口である「道の駅こぶちさわ」において、敷地内に残存する「旧道の駅こぶちさわ」を有効活用するため改修し、圏域内観光や移住定住に関する情報発信スペース等を設けた。
CHECK	効果 （達成・未達成 の理由）	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等のため、目標を達成することができなかった。
ACTION	次年度以降 の取組	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、改修した施設を有効活用し、入り込み客数の増加を図る。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	318,357人	318,686人	319,014人	319,343人	319,671人	320,000人	272,475人					来館者数 年間 328.6人増 （R6-H30）/5の数値 を傾斜配分
富士見町												
原村												

【施策分野⑤】

政策分野	生活機能の強化
項 目	3. 産業振興 ア 観光振興の推進
取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、南アルプスユネスコエコパーク事業に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、観光振興による圏域の活性化を図るため、南アルプスユネスコエコパークに関する情報等の共有及び共同事業を行う。

【事業内容⑤－１】

事業名	南アルプスユネスコエコパーク事業						
関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	南アルプスユネスコエコパークの保全と活用を推進するため、エリア内の環境保全、環境整備、地域の魅力・資源の発掘等により、情報発信と受入環境整備を図り、人と自然と文化が共生する地域づくりを推進する。						
事業効果	南アルプスユネスコエコパークエリア内への観光誘客と観光消費額の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	観光客入込客数			2,317千人		2,493千人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	4,138	13,738	13,738	13,738	13,738	59,090
	富士見町	318	7,696	7,696	7,696	7,696	31,102
	原 村	-	-	-	-	-	-
	合 計	4,456	21,434	21,434	21,434	21,434	90,192

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【2市町】清流と甲斐駒ヶ岳エリアの観光客入込客数を検証する。
DO	実績	【北杜市】災害石碑の案内板の作成、動植物調査、中山整備事業、植樹事業等を行った。新型コロナウイルスの影響により、観光客など外部に向けた事業は自粛し、地元に向けた事業や学校と連携して事業を実施した。 【富士見町】新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少する見込みである。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】国土地理院が過去の災害の教訓を生かすため地図記号を追加したことから、災害伝承碑の案内板を作成した。このことにより、地元の住民だけでなく、こちらに立ち寄った人にも啓発を行うことができた。また、地域の後継者となる子どもたちを中心に南アルプスユネスコエコパーク登録エリアであることの誇りや愛郷心を育むことができた。 【富士見町】新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少する見込みである。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】昨年度と同様、地元向けの事業や学校と連携した事業を行う。また、コロナの影響を見極めながら、伝承継承事業等の実施を検討していく。 【富士見町】With コロナによる観光地域づくりを目指すとともに、南アルプスの魅力を発信しながら自然保護とともに地域一体となった取り組みを行っていく。

【令和２年度取組実績】

	基準 値	K P I ・目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜 市	2,317	2,352	2,387	2,423	2,458	2,493	692,686 人					清流と甲斐駒ヶ岳エリアの観光 客入込客数 年間 35.2 千人増 (R6-H30) /5 の数値を傾斜配分
富士 見町	千人	千人	千人	千人	千人	千人	662,261 人					
原村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計							1,354,947 人	—	—	—	—	

【施策分野⑥】

政策分野	生活機能の強化
項 目	3. 産業振興 イ 鳥獣害防止対策
取組内容	有害鳥獣による農林業被害を防止するため、圏域で連携し、鳥獣害防止対策を総合的に進める。
関係市町村の役割	(ア) 甲・乙と連携し、住民及び団体と連携を図りつつ、鳥獣害に関する情報交換等を実施する。 (イ) 甲・乙と連携し、鳥獣害防止対策の調査研究を行うとともに、取組を実施する。

【事業内容⑥－１】

事業名	鳥獣害防止対策合同会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議において情報交換等を行い、効率的かつ有効な鳥獣害対策を検討する。						
事業効果	鳥獣害による農林業被害が減少し、農業経営の安定化と地域の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	検討会議開催数			1回／年		1回／年	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】鳥獣害対策研修会の回数を検証する。
DO	実績	【北杜市】ハヶ岳定住自立圏有害鳥獣対策連絡会の開催及び、先進事例視察を実施した。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】情報交換と対応策の共有により連携した鳥獣害対策に対する認識ができる。 【富士見町】情報交換等を行い、効率的かつ有効な鳥獣害対策が検討されたため、鳥獣害による農林業被害が減少し、農業経営の安定化と地域の活性化が図られた。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】ハヶ岳定住自立圏有害鳥獣対策連絡会の開催並びに圏域内の状況把握のための視察の実施。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回					検討会議開催数 年間1回
富士見町												
原村												

【事業内容⑥－２】

事業名	野生鳥獣共同捕獲事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議を基に、圏域町村と連携して鳥獣被害を防止するため、共同捕獲事業の一環として、捕獲施設を設置し、圏域の猟友会と連携して、特定鳥獣の共同捕獲を実施する。						
事業効果	農林業被害が減少し、地域の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等	特定鳥獣適正管理事業						
重要業績評価指標 (KPI)	指標	H30 (基準値)			R6 (目標値)		
	農業被害額をH30の85%とする。	北杜市 28,656 千円 富士見町 2,233 千円 原村 3,641 千円			北杜市 24,457 千円 富士見町 1,940 千円 原村 2,305 千円		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	1,287	2,705	2,305	2,305	2,305	10,907
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	1,287	2,705	2,305	2,305	2,305	10,907

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】鳥獣被害防止計画に基づく被害軽減目標により農業被害額を検証する。
DO	実績	【北杜市】獣害用捕獲囲いワナ(シカ・イノシシ用)の設置 明野町小笠原地内設置済み。(3月完成)新年度より捕獲を開始した。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】以前設置したサル大型捕獲オリは、定期的に捕獲が見られ、農林業被害の軽減や、目撃情報の減少につながった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】行動域調査の結果を踏まえ、設置場所の拡大や移動を検討する。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	28,656 千円	21,816 千円	26,976 千円	26,137 千円	25,297 千円	24,457 千円	25,176 千円					農業被害額 年間 839.8 千円減 (R6-H30) /5 の数値を傾 斜配分
富士見 町	2,233 千円	2,174 千円	2,116 千円	2,057 千円	1,999 千円	1,940 千円	1,761 千円					農業被害額 年間 58.6 千 円減 (R6-H30) /5 の数値を傾 斜配分
原村	3,641 千円	3,374 千円	3,107 千円	2,839 千円	2,572 千円	2,305 千円	3,437 千円					農業被害額 年間 267.2 千円減 (R6-H30) /5 の数値を傾 斜配分

【施策分野⑦】

政策分野	生活機能の強化
項 目	3. 産業振興 ウ 地産地消及び販路開拓を推進
取組内容	農林産物の消費拡大を図るため、道の駅・直売所等を活用し、地産地消及び販路拡大を推進する。
関係市町村の役割	(ア) 甲・乙と連携し、住民及び団体等と連携を図りつつ、地産地消、情報発信等に関する情報交換等を実施する。 (イ) 甲・乙と連携し、道の駅・直売所等の相互交流により、地産地消及び販路拡大の推進に資する取組を実施する。

【事業内容⑦ー１】

事業名	ハケ岳定住自立圏農林産物販売連携会議						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域に存する道の駅・直売所の活性化を図るため、連携会議を開催し、特産品情報の共有・発信や食のイベントの共同開催等を通じて、相互連携を深めると共に新たな特産品のブランド化に取り組む。						
事業効果	特産品情報の共同発信により効果的な販路拡大が見込まれ、新たな特産品のブランド化にも繋がる。 また、各施設が連携した事業の検討及び実施が期待できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標		H30 (基準値)		R6 (目標値)		
	会議開催数		1回／年		1回／年		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	14	14	14	14	56
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	14	14	14	14	56

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】連携会議の開催数を検証する。
DO	実績	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の影響により、連携会議を開催することができなかった。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の影響により、連携会議を開催することができなかった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の影響により、対面会議を開催することが困難な場合、リモートなどを活用し、コロナ禍においても実施可能な会議の開催を検討する。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回					会議開催数 年間1回
富士見町												
原村												

【施策分野⑧】

政策分野	生活機能の強化
項 目	4. 教育・文化 ア 図書館の相互利用等
取組内容	圏域住民の生涯学習の機会の充実を図るため、各図書館の相互利用等を促進する。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、各図書館の相互利用等を促進する。

【事業内容⑧－１】

事業名	図書館相互利用促進事業					
関係市町村	北杜市、富士見町、原村					
事業概要	圏域住民が、3市町村立図書館すべてにおいて利用カードを作り、貸出等のサービスが受けられることを10館において広く周知し、自館で所蔵していない資料については、同時期・同期間に特設展示で紹介する。 また、資料を他館から借受けることができ、借受け館では利用者への費用負担を求めることなく利用者に貸し出しなどを行う。					
事業効果	居住地以外の図書館でも利用カードが作れることで、圏域内の図書館の利用を促進することができる。 また、利用者の望む資料を圏域で協力して提供することができる。					
導入可能な補助事業等						
重要業績評価指標 (KPI)	指標		H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	図書館資料展示日数		700日		1,800日	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6 合計
	北杜市	0	30	30	30	30 120
	富士見町	108	108	108	108	108 540
	原 村	34	34	34	34	34 170
	合計	142	172	172	172	172 830

【令和2年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】北杜市図書館1館、富士見町図書館及び原村図書館にコーナーを設置した展示日数を検証する。
DO	実績	【北杜市】「地域を知る」をテーマにした各図書館が推薦する本の特別展示コーナーを設け、3市町村で同時開催を行った。 貸出実績 1,620日(27日×20冊×3館＝1,620日) 展示期間 令和2年11月10日から12月6日まで
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】目標達成に向けて協力体制が整い、3市町村共に、図書館の連携を深めることができた。また、それぞれの図書館の魅力や特徴を伝え、北杜市、富士見町及び原村の図書館を利用することで、実際に人々の交流に繋がっている。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】目標達成に向け、図書館相互の連携を、より高めていく。

【令和2年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	1,260 日	1,368 日	1,476 日	1,584 日	1,692 日	1,800 日	1,620 日					図書館資料展示日 数 年間108日増 (R6-H30)/5の数 値を傾斜配分
富士見町												
原村												

【事業内容⑧－２】

事業名	図書館連携事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	各図書館が、各館ごとに計画しているイベント等の情報を共有し、利用者に提供していく。 展示期間を決め、共通のテーマに関する資料の展示を行う。						
事業効果	イベント情報の共有や共通テーマでの展示を行うことで、他の図書館への誘導を行うことができ、各図書館の利用促進につながる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	共通テーマの展示回数			2回		3回	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】圏域の共通テーマ展示回数を検証する。
DO	実績	【北杜市】共通テーマ 1回目「地域を知る」展示期間 11月10日～12月6日 2回目「防災」展示期間:1月13日～1月31日 3回目「郷土食」展示期間 3月17日～23 北杜市 8 図書館、富士見町及び原村で共通テーマ展示を開催した。随時、互いの図書館パンフレットや図書館情報誌、イベントチラシに加え、広報誌、観光パンフレットなども設置した。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】共通のテーマ展示に取り組むことで、情報交換を行い、3市町村の連携を深めることができた。また、チラシの配布によりイベントを共有することで、それぞれの図書館と地域をアピールすることができた。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】共通テーマによる展示会を3回行う。図書館資料に加え、それぞれの自治体の特徴や魅力を伝える資料の設置を増やし、図書館相互の交流を深めることで、より一層の連携強化を図る。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	2回	3回	3回	3回	3回	3回	3回					共通テーマの展示回数 年間3回
富士見町												
原村												

【施策分野⑨】

政策分野	生活機能の強化
項 目	4. 教育・文化 イ 生涯学習の充実
取組内容	圏域内における芸術、文化、スポーツの振興を図るため、施設の相互利用やイベント情報の共有等に努め生涯学習の充実を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の芸術、文化、スポーツ施設で開催されるイベント等の情報を発信するとともに、圏域内の住民、子供達がイベント等に参加できるような機会をつくる。

【事業内容⑨－１】

事業名	演劇鑑賞・体験交流促進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	市内ホールにおける文化芸術事業を推進するため、圏域住民から要望の多い演劇の鑑賞や体験の機会を実現させ、演劇を圏域内に定着させる。 また、地方で公演の場を求めている劇団を首都圏から誘致し、目の前で臨場感のある生の演劇（鑑賞）や、圏域住民の文化芸術活動の充実のため演劇のワークショップを実施し、演劇への参加により、役者と圏域住民が一緒になって時間と空間を共有体験できる劇団の創出事業としての文化芸術事業を図る。						
事業効果	質の高い演劇等を開催することで、圏域全体の交流人口の増加が期待できる。圏域住民に演劇の鑑賞や体験の機会が充実し、圏域全体の文化芸術の振興が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 （KPI）	指標			H30 （基準値）		R6 （目標値）	
	ワークショップ参加者数			38人		60人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	1,861	3,658	3,658	3,658	3,658	16,493
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	1,861	3,658	3,658	3,658	3,658	16,493

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】ワークショップ参加者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】 ①舞台「高嶺高輪花」 中止 ②ミュージカル「シンデレラ」 中止
CHECK	効果 （達成・未達成の理由）	【北杜市】2 事業を企画していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため①は中止。②は令和 2 年度内で延期。しかし、延期した時期も感染症対策のため実施できず中止したため達成できなかった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】1 事業を企画、①劇団による演劇を計画。 【富士見町】富士見町にはホールがないため、本格的なホールイベントを見ることがするのは大変貴重な機会である。もっと大々的にアピールしていきたい。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	38 人	42 人	47 人	51 人	56 人	60 人	中止					ワークショップ参加者数 年間 4.4 人増 (R6-H30) /5 の数値を傾 斜配分
富士見町												
原村												

【事業内容⑨－２】

事業名	大学等との連携による文化芸術創造事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	市内ホールが保有するそれぞれの特徴を強みとして、文化芸術活動を行う首都圏の大学や民間団体等の合宿誘致を図る。 圏域内の宿泊施設に宿泊し、平日利用の少ないホールでの練習や活動の成果を披露する発表の場を提供するとともに、大学や民間団体等と連携し、その成果を圏域住民が鑑賞できる機会を創出する。						
事業効果	圏域住民の芸術鑑賞の機会が増加する。 また、圏域内の宿泊施設での合宿を通じて、圏域住民との交流が生まれ将来の移住に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標		H30 (基準値)		R6 (目標値)		
	合宿誘致数		1団体		3団体		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	71	1,500	1,500	1,500	1,500	6,071
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	71	1,500	1,500	1,500	1,500	6,071

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】夏、秋、冬の合宿誘致数を検証する。
DO	実績	【北杜市】ハヶ岳合唱祭は令和３年度へ延期した。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】1 事業を企画していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため令和２年度内で延期。しかし、延期した時期も感染症対策のため実施できず、令和３年度に延期したため達成できなかった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】1 事業を企画、①大合唱の郷セミナー＆コンサートを計画。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI 数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	1 団体	1 団体	2 団体	2 団体	3 団体	3 団体	中止					合宿誘致数 年間 0.4 団体増 (R6-H30) /5 の数値を傾斜配分
富士見町												
原村												

【事業内容⑨－３】

事業名	文化芸術鑑賞・体験機会提供事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	市内ホールで、圏域住民に一流の文化芸術の鑑賞会や、子育て世代を対象としたミュージカルや音楽会等の芸術事業を提供し、質の高い文化芸術に触れる機会の充実や相互交流を目的とした参加型事業を推進し圏域の活性化を図る。 また、圏域の子どもを対象とした多彩な優れた芸術鑑賞や楽器演奏体験等、観て聴いて触れて感じる文化芸術事業の機会を提供し、子どもたちの情操教育の推進を図る。						
事業効果	圏域住民や子育て世代に、文化芸術事業や参加型事業を開催することで、圏域の芸術活動が活性化され、住んでみたいまち（圏域）のイメージアップにつながり、交流人口の増加が期待できる。 また、圏域住民の一流の文化芸術を鑑賞する機会の充実や、圏域の子どもの情操教育が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標（KPI）	指標			H30 （基準値）		R6 （目標値）	
	ホール入場者数			939人		1,200人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	2,284	7,858	7,858	7,858	7,858	33,716
	富士見町	0	150	150	150	150	600
	原村	0	40	80	80	80	280
	合計	2,284	8,048	8,088	8,088	8,088	34,596

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】ホール入場者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】 ①「ガチャピンムックのサーカスエコロジカル」中止 ②「カルロスKプロデュースコンサート」中止 ③第14回ハケ岳音楽祭オペレッタ「ルクセンブルク伯爵」令和２年10月4日（日）開催 会場：ハケ岳やまびこホール、入場者数131人
CHECK	効果 （達成・未達成の理由）	【北杜市】新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた２つの事業を中止した。また、実施した事業も、感染症対策のため、入場者数を170人に限定したため、達成できなかった。 【富士見町】新型コロナウイルス感染症により、ほとんどのイベント自体が中止となった。県外に出ることをためらい、富士見町から参加する人もいなかった。 【原村】圏域の芸術活動の活性化と、圏域住民の一流の文化芸術を鑑賞する機会の充実となった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】4事業を企画、①こどもオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、②サウンドアートパフォーマンス SILT&弦楽四重奏、③夏井いつき句会ライブ、④オペレッタ「コウモリ」を計画。 【富士見町】富士見町にはホールがないため、本格的なホールイベントを見ることがするのは大変貴重な機会である。もっと大々的にアピールしていきたい。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数 値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	939 人	991 人	1,043 人	1,096 人	1,148 人	1,200 人	128 人					ホール入 場者数 年間 52.2 人 増 (R6- H30) /5 の数値を 傾斜配分
富士見 町							0 人					
原村							3 人					
計							131 人					

【事業内容⑨－４】

事業名	峡北スケート大会、スケート教室開催事業及びスケート振興推進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	ハケ岳スケートセンターを会場にした圏域の小中学生、高校生が参加する圏域における一流選手への登竜門的大会として峡北スケート大会を開催する。 また、トップアスリートによるスケート教室や親子スケート教室を開催するとともに、独自の施設利用料金の割引制度を策定し、圏域住民がスケートに親しみ、冬季の健康増進や体力向上のための利用や、圏域内観光客のレジャーとしてのスケート振興を図り、ハケ岳スケートセンターの利用促進に努める。						
事業効果	圏域におけるスケート競技力の向上と指導者の資質向上や、冬季の健康増進や体力の向上が図られ、スケートに接する機会が増えることで、交流人口の拡大が期待できスケートの振興につながる。 また、スケートを通じて圏域の魅力を積極的に発信することができ、観光客等が利用することでスケートが冬季のレジャーとして定着し、圏域内の宿泊事業者や観光事業者への波及効果も期待できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	教室参加者数			390人		400人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	970	2,809	2,808	2,808	2,808	12,203
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	970	2,809	2,808	2,808	2,808	12,203

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】峡北スケート大会参加選手延べ人数、親子スケート教室参加者数及びトップアスリートスケート教室参加者数の合計により検証する。
DO	実績	【北杜市】 第68回峡北スケート大会 期日:令和3年1月5日 参加選手延べ66人 親子スケート教室 期日:令和2年12月12日～令和3年1月30日 参加者544人 トップアスリートスケート教室 期日:令和3年2月6日 参加者44人
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】親子スケート教室をきっかけとして、低年齢の時期からスケートを始めることは、将来的な競技力向上につながるものであり、トップアスリートによる指導を受けることは、選手のみならず、指導者の資質の向上につながっている。またスケートの楽しさを知ること、リピーターとなり、友人や知人を誘いながらレジャーとして定着していくことが期待される。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】ハケ岳スケートセンターが市営化されるため、その進捗状況をみながら、スケート振興に向けた事業展開を行っていくこととする。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	390人	392人	394人	396人	398人	400人	654人					教室参加者数 年間2人増 (R6-H30)/5の数値を傾斜配分
富士見町												
原村												

【事業内容⑨－５】

事業名	BMX・ビーチバレー普及事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	東京オリンピック時にフランス・BMXチーム及びビーチバレーチームが事前合宿を行うことから、練習会場であるYBP及び白州サンドバレーコート会場に、競技の普及を図るため教室や大会等を開催し、競技を通じて興味や楽しさを感じてもらい、トップアスリートの豊かな経験と卓越した技術、スポーツの素晴らしさを圏域の住民や子ども達に伝え、スポーツに親しむ態度や習慣を身に付けるとともに、競技の普及に努める。						
事業効果	東京オリンピック事前合宿の練習会場において、教室や大会を開催し、競技に接する機会が増えることで、圏域住民が競技に親しみ、交流人口の拡大が期待できる。 また、BMX・ビーチバレーの普及に繋がり、競技の普及により、圏域住民の健康増進や体力向上が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	参加者数			300人		400人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	479	771	770	770	770	3,560
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	479	771	770	770	770	3,560

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】市長杯ビーチバレー大会参加者数、ビーチバレー教室参加者数及びBMX教室参加者数の合計により検証する。
DO	実績	【北杜市】 第３回北杜市長杯ビーチバレー大会 期日：令和２年９月５日 参加者 96 人 ビーチバレー教室 期日：令和２年 10 月 17 日 参加者 26 人 サンドバレーコート体験事業 期日：令和２年 7 月 30 日 参加者 24 人 BMX教室 期日：令和２年 8 月 4・6 日 参加者 40 人 出張BMX教室 期日：令和２年 11 月 19 日 参加者 30 人
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】新型コロナウイルス感染拡大により、規模を縮小して事業を実施せざるを得ない状況があり、また活動できる時期が限定されることで複数のイベントが重なったり、気象条件により受入時期に限界が生じたりと、計画していた環境が整わなかったため。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行ったうえで、少しでも多くの参加者が確保できるよう、開催方法や開催時期、周知の方法等について改善を行う。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI 数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	300 人	320 人	340 人	360 人	380 人	400 人	216 人					参加者数 年間 20 人増 (R6-H30) / 5 の数値を傾斜配分
富士見町												
原村												

【施策分野⑩】

政策分野	生活機能の強化
項 目	4. 教育・文化 ウ 文化財の保護、活用
取組内容	郷土の文化・伝統を守るため、連携して文化財の保護、活用を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、文化財の保護、活用を図る。

【事業内容⑩－１】

事業名	資料館連携事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	縄文文化や棒道など、圏域にある文化財・郷土資料から選んだ共通のテーマの企画展を同時開催する。 また、スタンプラリー等を開催する。						
事業効果	圏域内の資料館において共同で共通テーマの企画展を開催することで、全国に誇れるハケ岳山麓の歴史や文化をより効果的に発信でき、移住定住への関心を喚起できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	企画展開催中の圏域外からの入館者数			7,504人		9,577人	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	945	1,160	1,160	1,160	1,160	5,585
	富士見町	203	91	91	91	91	567
	原 村	203	91	91	91	91	567
	合計	1,351	1,342	1,342	1,342	1,342	6,719

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】企画展開催中の圏域外からの入館者数を検証する。
DO	実績	【3市町村】「縄文時代の食」をテーマにした共同企画展を令和２年７月７日～11月23日に実施。スタンプラリーも令和２年７月７日～11月23日に同時実施。東京発１泊２日のバスツアーを期間中に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止し、代替事業として、オンラインガイドツアーを11月23日に実施。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【3市町村】新型コロナの影響により、主に首都圏からの来館者が減少したことで、KPI達成には至らなかった。バスツアーの代替事業として実施したオンラインガイドツアーはYouTubeにて発信し、100名以上の方に見てもらうことができた。これまでバスツアーに参加できない地域の方々にもハケ岳山麓の歴史や文化を発信することができ、定住・移住への関心を一定程度喚起できた。
ACTION	次年度以降の取組	【3市町村】「縄文人と火の関わり」をテーマとした共同企画展とスタンプラリーを令和３年７月～11月に開催する。共同企画展開催中に昨年度実施できなかった、東京発１泊２日のバスツアーを実施。ただし、新型コロナウイルス感染状況に応じて、対応する予定。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	7,504 人	7,919 人	8,333 人	8,748 人	9,162 人	9,577 人	6,267 人					企画展開催中の圏域 外からの入館者数 年間 414.6 人増 (R6-H30) /5 の数値 を傾斜配分
富士見町												
原村												

【事業内容⑩－２】

事業名	文化財を活用した地域活性化事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	関係市町村に所在するハケ岳山麓の縄文時代史跡や鍔絵等の文化財を保護・継承し、それらを活用した地域活性化を図る。 鍔絵等の伝統工芸の体験教室や、縄文文化遺産を巡るツアーの開催など、縄文文化遺産の観光資源化を行う。						
事業効果	ハケ岳山麓の文化財、伝統文化の魅力を発信し、直に触れる機会を提供することで、ハケ岳山麓の文化財、伝統文化の魅力を発信することができるとともに、地域住民の地域への誇り、圏域への移住・定住の関心を喚起できる。 また、縄文文化遺産の観光資源化による、地域の観光振興の活性化が図られる。						
導入可能な補助事業等	Living History 生きた歴史体験プログラム促進事業 文化財多言語解説整備事業						
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	地域の史跡等のインバウンド訪問者数			35人		105人	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	18,491	12,425	12,134	1,000	1,000	45,050
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	合計	18,491	12,425	12,134	1,000	1,000	45,050

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】実際に史跡梅之木遺跡公園で生活体験したインバウンド数を計数して検証する。
DO	実績	【北杜市】「梅之木縄文ムラ体感プログラム事業」において、縄文クラフト体感プログラムを造成した。当該プログラムは令和３年６月から地元旅行会社から販売を開始した。そのほか２種の体感プログラムを令和４年度まで継続造成する。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】令和２年度は縄文クラフト体感プログラムのモニター体験会を実施し、のべ４人の外国人の参加を得た。KPIに掲げた外国人観光客２０人は、新型コロナウイルス感染症により達成できなかった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】令和４年度まで継続して体感プログラムを造成する。造成した体感プログラムは年度末ごとに催行、販売する。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	
	30	2	3	4	5	6	2	3	4	5	6	
北杜市	35人	49人	63人	77人	91人	105人	4人					地域の史跡等のインバウンド訪問者数 年間14人増 (R6-H30)/5の数値を傾斜配分
富士見町												
原村												

【事業内容⑩－３】

事業名	裂き織り保存活用・発信事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	古くから農村で行われてきた着古した着物などを裂いて織るボロ機織りを伝承し、情報発信を行うことを目的とし、裂き織教室、体験や展示公開などを行う。古き農村の生活様式や郷土の文化を発信する施設の整備・展示の充実を図る。						
事業効果	古き農村の生活様式の一部である機織り技術を伝承し、体験、展示公開や実費配布などを行う。農村の風景や郷土の文化等地域の魅力を発信することで、圏域への国内外からの観光客の増加や定住者の増加などが期待できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	H30 (基準値)			R6 (目標値)		
	入館者数 体験者数	1,300人 195人			1,400人 250人		
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	5,021	746	746	746	746	8,005
	合計	5,021	746	746	746	746	8,005

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【原村】入館者数及び体験者数を検証する。
DO	実績	【原村】令和２年７月１１日～９月２７日の５６日間、郷土館を開館し、併せて機織り体験も実施。開館中、企画事業として郷土で活躍する村在住の女性２人の版画と押絵を展示。「裂き織でガマロPOCHを作ろう」の教室や漆喰を使った「光る泥だんご作り」を実施。まてのくらの屋根葺き替えを行い、施設の充実を図った。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【原村】新型コロナの影響により、主に首都圏からの来館者が減少したことで、KPI達成には至らなかった。機織り体験者も前年に比べ減少し、特に子供の減少幅が大きく、県外からの親子連れの減少が大きい。新型コロナ禍での開館であったが、予想よりも多い約１,０００人の来館者を迎えることができ、裂き織や鰻絵などの地域の魅力を発信することができた。
ACTION	次年度以降の取組	【原村】令和３年７月１７日～９月２６日の４９日間、郷土館を開館、併せて機織り体験も実施。企画事業の展示・教室を開館期間中に実施。裂き織作品(コースター等)を郷土館にて販売。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	1,300	1,320	1,340	1,360	1,380	1,400	961					上段：入館者数 年間 20 人増（約 1.5%増） 下段：体験者数 年間 11 人増（約 5.6%増） (R6-H30) / 5 の数値を傾 斜配分
富士見町	人	人	人	人	人	人	人					
原村	195	206	217	228	239	250	172					
	人	人	人	人	人	人	人					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

【施策分野⑪】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項 目	1. 地域公共交通 ア 地域公共交通のネットワーク化
取組内容	圏域内住民等の移動手段を確保するため、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域における公共交通の課題について調査、検証するとともに、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。

【事業内容⑪－１】

事業名	圏域公共交通対策事業						
関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	県境で接する北杜市と富士見町は、生活圏として交流があるため、相互連携により圏域内の住民の移動手段を確保する。						
事業効果	圏域内の商業施設や医療機関、鉄道駅を相互に利用でき、圏域住民の利便性が向上する。						
導入可能な補助事業等	地域公共交通確保維持改善事業補助金						
重要業績評価指標 (K P I)	指標		H 3 0 (基準値)		R 6 (目標値)		
	北杜市民バス・富士見町すずらん号利用者数		106,037 人		120,000 人		
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	24,291	120	120	120	120	24,771
	富士見町	17,300	17,300	17,300	17,300	17,300	86,500
	原 村	-	-	-	-	-	-
	合計	41,591	17,420	17,420	17,420	17,420	111,271

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】北杜市民バスの年間利用者数を検証する。 【富士見町】富士見町すずらん号利用者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】 北杜市民バスの利用者数 71,339 人 【富士見町】 富士見町すずらん号の利用者数:19,690 人 地域公共交通の役割として、コロナ禍ではあるものの運行を継続したが、緊急事態宣言の影響による外出控えにより、利用者は大幅に減少した。
CHECK	効果 (達成・未達成 の理由)	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が激減している。北杜市民バスについては、前年度比で利用者が月平均 10%以上減少、月によっては 60%以上減少している。 【富士見町】地域公共交通の役割として、コロナ禍ではあるものの運行を継続したが、緊急事態宣言の影響による外出控えにより、利用者は大幅に減少した。
ACTION	次年度以降 の取組	【北杜市】新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、公共交通の利用促進に向け、引き続き周知・啓発などの取り組みを行う。 【富士見町】感染症対策を実施しながら継続していくとともに、利用者の要望に沿ったマイナーチェンジを模索していく。

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値 根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	106,037	108,830	111,622	114,415	117,207	120,000	71,339 人					北杜市民バス・富士見町すずらん号利用者数 年間 2,792.6 人 増 (R6-H30) /5 の数値を 傾斜配分
富士見町	人	人	人	人	人	人	19,690 人					
原村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計							91,029 人					

【施策分野⑫】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項 目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 ア 結婚支援
取組内容	若者に出会いの機会を提供するため、圏域全体で結婚支援に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、結婚相談や出会いのパーティ等のイベントを開催するとともに、結婚支援の取組の調整を行う。

【事業内容⑫-1】

事業名	出会いの機会創出事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内で魅力的な婚活イベントを開催するとともに、首都圏の独身女性が利用できる新宿発：定住自立圏行きの直行バスを運行する。						
事業効果	圏域内の男性に積極的に出会いの場を提供することで、若い世代の成婚、定住に繋げることができる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	婚活イベントにおけるカップル成立数(組)			13組		16組	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	748	1,175	1,175	1,175	1,175	5,448
	富士見町	100	100	100	100	100	500
	原 村	100	200	200	200	200	900
	合計	948	1,475	1,475	1,475	1,475	6,848

【令和2年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】イベントによるカップルの成立数を検証する。 【富士見町】単独イベントによるカップル成立数を検証する。 【原村】婚活イベントによるカップルの成立数を検証する。
DO	実績	【北杜市】圏域内の男性に出会いの場を提供するイベント開催を民間に委託。例年、それぞれの市町村において各1回ずつ体験型婚活イベントを開催しているが新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和2年度は3市町村合同によりオンラインで開催した。 3月20日 定員12名 男性4名、女性5名が参加 3月21日 定員12名 男性5名、女性5名が参加 【富士見町】コロナ禍においても出会いの場を提供したく、リアル婚活が難しい状況下でもオンライン婚活イベントを開催した。 12月12日開催 男性5名、女性6名が参加、計11名(うち2組マッチング) 【原村】新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対面での開催が困難だったため、3市町村が合同でオンライン婚活を実施した。2日間のうち参加者の抽選をする日もあり、コロナ禍でも実施できたうえ、2日間ともカップルが成立した。単独イベントはなし(0組)。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】圏域外の女性の参加者が多く、圏域内男性への出会いの場の提供ができた。また、初の3市町村合同でのオンライン婚活イベントだったが、圏域外の女性に圏域の魅力を伝えられた。20日のイベントにおいて、5組のカップルが成立、21日のイベントにおいて4組のカップルが成立した。 【富士見町】オンライン環境があれば、コロナ・地域の限定をせずに参加可能なことや圏域に興味のある女性も多く、移住・定住促進につなげる効果も期待される。ただし、オンラインでのトラブル発生時の対応は必要。 【原村】コロナ禍でもオンライン婚活で実施できたことは、今後の活動について選択肢が広がり、大きな成果であった。

ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】今回は初のオンライン開催ということで、参加者が定員に満たない状況であったが、例年、男性・女性ともに定員を上回る申し込みがあり、特に首都圏在住の女性からの申し込みが多く、婚活～結婚を契機に定住自立圏内に移住を検討されている方が存在する。定住自立圏として同じ企画で継続して実施するイベントとともに新たな視点から関心を持ってもらえるような工夫を凝らしたイベントを開催する。 【富士見町】引き続き、出会いの機会を提供するために婚活イベントの開催を行う。 【原村】オンライン婚活は、気軽に申し込めるがキャンセルも気軽にできてしまうので、今後の課題だと思う。女性の参加者は抽選をする日もあったが、男性の参加者の申込が伸びなかったことから、少し抵抗があるのではないかと感じた。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、可能であればオンライン婚活イベントではなく、体験型の婚活イベントの実施をしたい。（オンラインだと男性の参加者が集まらない）
--------	----------	--

【令和２年度取組実績】

	基準 値 H 30	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	13組	14組	14組	15組	15組	16組	9組					婚活イベントにおけるカップル成立数（組） 年間0.6組増 （R6-H30）/5の数値を傾斜配分
富士見町							2組					
原村							9組 （再掲）					
計							11組					

【事業内容⑫－２】

事業名	きめ細やかな結婚支援事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の結婚相談員の相互交流によるスキルアップとともに、出会いサポートセンターにおいて、圏域内の結婚希望者の情報共有を行う。 また、ポータルサイトの効果的な運用を通じ、情報発信力を高める。						
事業効果	圏域内で情報共有することで、交流範囲や出会いの場が広がり、若い世代の成婚・定住に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	結婚相談所を通じた成婚数(組)			4組		8組	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	2,038	2,193	2,193	2,193	2,193	10,810
	富士見町	407	506	506	506	506	2,431
	原村	72	72	72	72	72	360
	合計	2,517	2,771	2,771	2,771	2,771	13,601

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】サポートセンターを通じた成婚数を検証する。 【富士見町】結婚相談所を通じた成婚数を検証する。 【原村】結婚相談所を通じた成婚数を検証する。
DO	実績	【北杜市】新型コロナウイルス感染対策により、5月24日まで完全電話相談のみ、25日から6月17日まで市内在住者のみ、6月18日から9月30日まで県内在住者のみ、10月1日から全面解除とし、制限がある中で支援事業を行った。しかしながら、3市町村結婚相談員の交流会及びスキルアップ研修会は中止となった。 【富士見町】圏域内で出会えた方のサポートを情報共有しながら行う。 【原村】ハケ岳定住自立圏の登録が始まって最初の成婚ケースとなった。(男性:原村/女性:富士見町)婚活の希望として、現在の住まいから近いところに住んでいる方を希望する方には良いのではないかと感じた。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県境をまたぐ往来が制限される中、令和２年度において、お見合い件数40件、成婚5組が成立した。 【富士見町】圏域内で情報共有することで、状況が分かり、成婚に繋がる。 【原村】登録者の年齢と男女比に差があるため、成婚に至るまでは簡単でないことを実感した。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】新型コロナウイルス感染情報に注視しつつ、引き続き、スキルアップセミナーや交流会の開催、ポータルサイトでの情報提供を実施していくとともに、圏域3市町村の結婚相談所登録者の情報共有と相互お見合いに向けて連携していく。 【富士見町】3市町村の相談員の交流、情報共有により、より多くの出会いの提供を行う。 【原村】幅広い年齢層の登録者数を増やすことが不可欠であること、最初のお見合いの際、相談員がどこまで進めていくか基準を設けること、担当者によって偏りが出ないように対応することが、次につながると考える。

【令和２年度取組実績】

	基準 値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H	R	R	R	R	R	R 2	R	R	R	R	
	3 0	2	3	4	5	6		3	4	5	6	
北杜市	4 組	5 組	6 組	6 組	7 組	8 組	5 組					結婚相談所を通じた成婚数（組） 年間 0.8 組増 （R6-H30）/5 の数値を傾斜配分
富士見 町							1 組					
原村							1 組 （再掲）					
計							6 組					

【施策分野⑬】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項 目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 イ 移住促進及び交流推進
取組内容	移住促進及び交流推進を図るため、三大都市圏を対象とした就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、事業実施のために必要となる情報の収集を行い、移住希望者に対応できる移住相談案内窓口等を設置する。

【事業内容⑬－１】

事業名	移住定住相談対策推進事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内へのさらなる移住定住を推進するため、圏域内の移住定住相談に対応する総合的な相談窓口を設置し、圏域の情報の提供及び発信を行う。 また、圏域内の移住定住事業の調整や合同相談会の企画運営を行う。						
事業効果	圏域内の移住定住情報の集約化により、相談者の利便性が向上するとともに、圏域全体の移住定住人口及び関係人口の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	移住定住相談件数			1,083件		1,661件	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	5,852	10,442	6,206	6,206	6,206	34,912
	富士見町	1,151	8,997	8,997	8,997	8,997	37,139
	原 村	1,131	53	53	53	53	1,343
	合計	8,134	19,492	15,256	15,256	15,256	73,394

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】移住定住相談件数を検証する。
DO	実績	【北杜市】相談件数の内訳 移住相談 653件 物件相談 162件 定住相談 45件 その他相談 169件 新型コロナウイルス感染対策で来訪による対応が困難なこともあり、オンラインシステムを導入して相談対応やイベントを行った。(オンライン対応実績:通常業務内3件、イベント参加者150件)令和２年度から土曜日も窓口対応を始めた。 土曜日の対応実績 162件 【富士見町】新型コロナウイルス感染症の影響で移住希望者が増え、目標値を達成した。 【原村】セミナーでの相談件数 32件 役場での窓口相談件数 22件
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県境をまたぐ往来が制限される中、地方移住への関心が一気に高まり相談件数が伸びた。移住相談については、前年度に比べて37%増となった。(相談件数:令和元年度477件、令和２年度653件)オンラインシステムの導入により、遠隔地にいる方も気軽に相談可能な体制となった。 【富士見町】移住相談担当職員を２名配置したことによる対応件数の増加や、テレワーカーへの支援等が各種メディアに取り上げられたことにより、移住相談件数が昨対比６倍以上となった。 【原村】新型コロナウイルス感染症対策で予定していた移住相談会が中止となり、体験住宅の受入れも中止したため、目標値を下回った。

ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】令和 3 年 4 月より、相談業務を民間企業へ委託する。相談対応経験のあるスタッフを中心に、さらに相談者に寄り添った対応が期待できる。また、移住定住ポータルサイトの見直し等を行い、相談者が求める情報を積極的に発信していく。ポータルサイト内に、オンライン相談予約画面に直結するバナーを導入し、相談希望者が気軽に且つ効率的に相談できるシステムを構築する。 【富士見町】新たに富士見駅に移住相談室を開設し、移住希望者や空き家を提供したい住民などが訪れやすい環境を提供する。 【原村】新型コロナウイルス感染症の状況をみつつ相談会等を開催していきたい。
--------	----------	---

【令和 2 年度取組実績】

	基準 値 H 30	K P I ・目標値					実績値					K P I 数値根拠
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	813 件	1,050 件	1,200 件	1,310 件	1,310 件	1,310 件	1,029 件					移住定住相談件数 第 5 次アクションプランの指標と合致
富士見町	33 件	201 件	201 件	201 件	201 件	201 件	201 件					移住定住相談件数 令和 2 年度実績値を維持
原村	237 件	80 件	80 件	150 件	150 件	150 件	54 件					移住定住相談件数 令和元年度実績値を維持、令和 2、3 年度はオンライン相談を考慮
計	1,083 件	1,331 件	1,481 件	1,661 件	1,661 件	1,661 件	1,284 件					

【施策分野⑭】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項 目	2. 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 ウ 女性の活躍
取組内容	女性に対する就職を支援するため、圏域内で働く魅力やライフスタイルに合った働き方を発信し、女性の雇用創出を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の女性の雇用促進に向けた機会を創出し、情報交換等を実施する。

【事業内容⑭－１】

事業名	就活女子会事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の企業で働く女性から、女子学生や一般求職者に対し、働くことの魅力やライフスタイルに合った働き方などを伝える「就活女子会」を開催する。						
事業効果	企業と就職希望者を結び付けることで、移住定住の促進と企業の人手不足の解消、女性の活躍に繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	参加者数			12名		15名	
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	101	101	101	101	404
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	101	101	101	101	404

【令和2年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】参加者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。
CHECK	効果 (達成・未達成 の理由)	【北杜市】新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。
ACTION	次年度以降 の取組	【北杜市】企業で働く女性職員から、女子学生や女性求職者に対し、働く魅力やライフスタイルに合った働き方などを伝え、女性の就業に対する不安解消につなげるとともに、就業促進を図っていく。

【令和2年度取組実績】

	基準 値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	12人	13人	13人	14人	14人	15人	中止					参加者数 年間0.6人増 (R6-H30)/5の数値を傾斜 配分
富士見町												
原村												

【施策分野⑮】

政策分野	結びつきやネットワークの強化
項 目	3. 道路等の交通インフラの整備 ア 道路の整備
取組内容	圏域内の交流人口を増加させるため、圏域を横断する観光ルート等となりうる道路整備に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の観光振興や災害時の緊急道路として、圏域を横断する主要道路が十分機能するよう整備に取り組む。

【事業内容⑮－１】

事業名	広域幹線道路整備促進協議会						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域の交通インフラの整備に向け、主要となる幹線道路や圏域内周遊市町村道路の整備促進を図るため、各市町村担当者等で構成する連絡協議会を開催し、整備に向けた検討や県に対する要望等を行なう。						
事業効果	圏域を直結で結ぶ幹線道路である主要地方道茅野北杜韭崎線、県道富士見原茅野線や圏域内を周遊する市町村道の整備促進を図ることにより、圏域内の繋がりが、より一層強化され、特に観光案内拠点となる道の駅こぶちさわの機能や周遊ルートの充実が図られる。 また、災害時における緊急道路としての効果も発揮される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 (KPI)	指標			H30 (基準値)		R6 (目標値)	
	協議会開催数			1回／年		1回／年	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】協議会の開催回数を検証する。
DO	実績	【3市町村】コロナウィルス感染症の状況により、協議会の開催を検討していたが、完全に収束に至らず、広域幹線道路整備促進協議会は開催していない。しかし、圏域内の幹線道路や連結周遊市町村道路等のインフラ整備に関する情報交換は、電話やメールで行っていた。
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【3市町村】コロナウィルス感染症対策もあり、広域幹線道路整備促進協議会は開催しなかった。しかし、その他の手段によるインフラ整備に関する情報交換を行い、連結周遊市町村道の整備が促進された。
ACTION	次年度以降の取組	【3市町村】コロナウィルス感染症対策を考慮して、広域幹線道路整備促進協議会を開催し、圏域内の幹線道路や連結市町村道の整備を促進する。観光拠点の周遊ルートの親しみやすい名称への統一に関して、関係機関と調整する。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回					協議会開催数 年間1回
富士見町												
原村												

【事業内容⑮－２】

事業名	主要道路整備事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の交流促進や観光ルートとしての機能を有する路線として、中央自動車道の諏訪南ＩＣ、小淵沢ＩＣ及び小淵沢駅を拠点に連結・周遊する市町村道について、維持補修工事及び環境整備事業を実施するとともに、主要地方道茅野北杜韭崎線、県道富士見原茅野線についても事業を推進する。						
事業効果	主要観光ルート・連結周遊ルートの整備を進めることにより、通行の安心・安全の確保や利便性の向上が図られ、スムーズな人の流れや物流により、魅力ある環境づくりが図られる。						
導入可能な補助事業等	社会資本整備総合交付金						
重要業績評価指標 (KPI)	指標		H30 (基準値)		R6 (目標値)		
	(宿泊者数) (外国人宿泊者数)		1,130千人 52千人		1,209千人 63千人		
事業費(千円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	15,957	19,500	35,000	35,000	30,960	136,417
	富士見町	20,482	187,275	200,000	200,000	200,000	807,757
	原村	10,241	10,000	10,000	10,000	10,000	50,241
	合計	46,680	216,775	245,000	245,000	240,960	994,415

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【3市町村】3圏域の宿泊者数及び外国人宿泊者数を検証する。
DO	実績	【北杜市】 市道小淵沢45号線道路改良工事 L=130m、W=5.50(9.00)m、側溝 L=107m、L型側溝 L=16m、アスファルト舗装(車道)A=919㎡、(歩道)A=256㎡ 【富士見町】 町道114号線舗装改修工事 L=350m、A=1,830㎡ 町道109号線舗装補修工事 L=100m、A=620㎡ 町道117号線側溝改修工事 L=8.0m 【原村】 村道2016号線(ズームライン)オーバーレイ工事 継続 L=615m、A=3,874㎡
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【3市町村】コロナウィルス感染症対策もあり、広域幹線道路整備促進協議会は開催しなかった。しかし、その他の手段によるインフラ整備に関する情報交換を行い、連結周遊市町村道の整備が促進された。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】 市道小淵沢45号線改良工事 L=130m、W=5.5m、A=1,170㎡、側溝 L=128m 【富士見町】 町道114号線舗装改修工事(路盤再生工) L=220m、A=826㎡ 町道7833号線(エコライン)ほか舗装補修工事 L=2,800m、A=20,860㎡ 【原村】 村道2016号線(ズームライン)オーバーレイ工事 L=500m、A=3,150㎡ 村道2016号線(ズームライン)湧水対策工事 L=20m

【令和２年度取組実績】

	基準値	K P I ・ 目標値					実績値					K P I 数値根拠
	H 3 0	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
北杜市	1,130	1,146	1,162	1,177	1,193	1,209	424,918 人					上段：宿泊者数 年間 15.8 千人増 下段：外国人宿泊者数 年間 2.2 千人増 (R6-H30) /5 の数値を 傾斜配分
	千人	千人	千人	千人	千人	千人	3,506 人					
富士見町							50,800 人					
	52	54	56	59	61	63	7 人					
原村	千人	千人	千人	千人	千人	千人	13,400 人					
							5 人					
計							489,118 人					
							3,518 人					

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

【施策分野⑯】

政策分野	圏域マネジメント能力の強化
項 目	1. 圏域市町村職員の交流 ア 市町村間職員研修
取組内容	圏域内市町村職員の資質の向上及び圏域マネジメント能力の向上を図るため、合同研修を行う。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内市町村職員が合同で参加することで効果が期待できる研修を企画し、実施する。

【事業内容⑯－１】

事業名	圏域市町村職員合同研修開催事業						
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	定住自立圏で取り組む課題や圏域内の市町村で共通する課題をテーマとした、職員合同研修を開催する。						
事業効果	合同研修の開催により職員の資質や政策形成能力の向上を目指すとともに、ハケ岳定住自立圏形成に対する意識・取組を共有することにより、多岐にわたる課題を解決する市町村職員相互のネットワーク基盤の構築が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績評価指標 （K P I）	指標			H 3 0 （基準値）		R 6 （目標値）	
	研修会開催数			5 回		5 回	
事業費（千円）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
	北杜市	166	200	200	200	200	966
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原 村	0	0	0	0	0	0
	合 計	166	200	200	200	200	966

【令和２年度事業評価】

PLAN	検証方法	【北杜市】研修会の開催回数を検証する。
DO	実績	【北杜市】市町村の研修担当を通じ、職員から研修内容等の希望を募り、研修会を開催した。広報分野においては、「デザインの基本」として、フォントの選び方やレイアウトから、写真撮影について学んだ。（研修２回、参加者延べ24人）人事分野においては、令和２年６月１日から強化されたハラスメント防止対策として、パワーハラスメントを中心に、職員からの相談に対しての対応を学んだ。（研修１回、参加者13人）
CHECK	効果 (達成・未達成の理由)	【北杜市】市町村で同様の職務に当たる職員同士であり、職員自らが学びたい内容であるため、職員間の交流が深められ、より実践的な研修となった。講師を招聘し、参加者が集合しての研修実施であるため、県境を越えた移動となること、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ予防対策のため、冬季における研修開催を見送ったことから開催回数が未達成となった。
ACTION	次年度以降の取組	【北杜市】職員交流を深めることは困難ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策のため、市町村間をオンラインで結んでの研修を基本とし、前年同様に市町村職員から研修内容の希望を募り、研修会を開催する。

【令和２年度取組実績】

	基準値	KPI・目標値					実績値					KPI数値根拠
	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
北杜市	5回	5回	5回	5回	5回	5回	3回					研修会開催数 年間維持
富士見町												
原村												